

# チャレンジなくしては始まらない

「自分には向いていない」と初めは断っていましたが、何度も話をもらううちに、一度挑戦してみようと引き受けることに。こうして、脚本から演出までを手掛けた舞台は高い評価を受け、演出家としての新たなキャリアが始まりました。

脚本家として生涯にわたって活躍できる人はごくわずかです。その数は、賞を取るなどしてデビューした脚本家のうち、1割もないといわれています。

そのような厳しい世界で、池田さんがこれまでに手掛けた脚本は、なんと300本超。舞台



取材時は、三山ひろしさん特別公演の稽古真中。開幕が迫り、脚本を手掛けた池田さんの演出は熱を帯びる

から見る観客の喜ぶ姿をやりがいにして苦勞を乗り越え、幼少期から憧れていた演劇界で40年近く奮闘してきました。

「自分が好きな世界で仕事ができる、ご飯を食べていける。これは本当に幸せなこと」と池田さん。秘蔵の未発表作品があり、今後の目標は「いつかそれらを上演する機会をもらって大きな評価を得たい。これからも書き続けますよ」と、創作意欲は尽きません。

さまざまな人との出会いが、脚本家や演出家になるチャンスをつくり、もらったチャンス



# とにかくチャレンジを

脚本家  
演出家  
池田政之さん

「いったんカット!」「さっきのシーンからもう一度」東京都内のスタジオで、矢継ぎ早に指示が飛びます。公演を間近に控えた役者の皆さんが稽古に励んでいました。

その中心に立つのは、西脇市出身の池田政之さん。脚本家として舞台の台本を手掛ける傍ら、演出家として役者に演技を指導するなど、演劇界の二刀流として活躍されています。

幼い頃から芝居を観ていた池田さんは、劇場に足を運ぶうちに演劇の世界に憧れを抱くようになり、西脇高校を卒業後、大学に進学し、一度は民間企業に就職しましたが、「いまの仕事は自分がしたかったことじゃない。やっぱり演劇の世界に入りたい」と決意。2年足らずで退社し、役者を目指すことにしました。

上京した池田さんは、当時では数少ない劇団のオーディションを受け、見事に一発で合格。喜劇を上演する劇団NLTへの入団が決まり、すぐに夢をかなえることができました。24歳のときでした。

脚本家になる転機が訪れたの逃さずチャレンジし続けてきたからこそ、池田さんはいま、舞台の中心に立っています。

インタビューの最後に、西脇市の子どもたちに向けて、池田さんに応援メッセージをお願いしました。

「皆さんにはいろんな夢があると思います。とにかくチャレンジしてください。チャレンジなくしては始まりません。どうか夢に向かって努力してください」とエールをいただきました。

は、舞台に立って役者として活動していたときでした。劇団の仲間が舞台の台本を手掛けたことを知り、脚本家への興味が湧き始めるのです。

「自分にもできるかも」と思った池田さんは、早速ペンを握って、一つの作品を書き上げました。これが制作者の目に留まり、すぐに上演が決まります。若き26歳にして、脚本家デビューとなりました。

「こっちは自分には向いている」と、役者ではなく脚本家として歩む決意を固めました。

それから脚本家としてキャリアを積み、40歳を迎えたとき、また新たな転機を迎えます。

脚本を手掛けた舞台で、演出の打診が制作会社からあったのです。



ゲネプロ（最終リハーサル）を終えた池田さんは細部にわたって演出を調整

広報にしわきの動画版でもインタビューを紹介しています。QRコードからご覧ください。



## 私たちが輝くステージ

この特集は、夢や目標に向かって頑張る子どもたちへ贈る企画です。全国で活躍する西脇市出身者が夢をかなえた軌跡を振り返り、子どもたちへメッセージを届けます。



## 池田政之さん脚本映画 エキストラ募集

市民交流施設周年事業 本市拠点に制作

池田さん制作の映画に審査会場の観客役として出演するエキストラを100人程度募集します。

▶とき 8月19日（土）～20日（日）午前9時～午後6時ごろ

▶ところ 市民交流施設オリナスホール

▶対象

中学1年生～79歳の市内在住、在勤、在学者  
※両日同じ服装での参加が必要です。

▶申込方法 インターネット＝QRコード＝または申込用紙で下記へ。



▶申込締切 6月18日（日）必着

※申し込み多数の場合などは抽選となります。  
メールまたは郵送で結果をお知らせします。

▶申込み・問合せ

市文化・スポーツ振興財団（播磨内陸生活文化総合センター内/☎22-5715）